

# HIV/AIDSについて

中野区は東京23区でも人口1000人あたりのHIV・AIDSによって身体障害者手帳を所有している人の数が多い自治体です。

現在、HIV・AIDSへの恐怖から差別や偏見を持つ人や、「治療をすれば死なない病気だから感染予防に気を付けなくても大丈夫」という誤った認識を持つ人がいる状況にあります。医療の進歩はめまぐるしく、現在の医学や薬では血液中のHIVウィルスなどには効果が出せるようになっています。また、リンパ節に入り込んだHIVウィルスをなくすることができないものの、生き生きと薬を服薬し続けることで慢性疾患に近い病気となってきています。

なお現在は、HIV陽性でもきちんと治療・服薬を続けることで他人に感染させる心配がない程度まで血中ウィルス量を減らすことができる人も増えています。しかし、その一方でHIVの感染に気付かぬままAIDSを発症し、そこから治療を始めた場合には現在も死亡をするケースがあります。また、早い段階で感染に気付いた場合でも感染後の長期間の服薬により肝臓や腎臓に負担がかかり身体を壊す例などもあります。

国内ではまだ本格的な実用化はされていないものの、予防的に薬を服用し続けることでHIVの感染を防ぐ「PrEP(プレップ)」や、感染したかもしれないと思った直後に服薬をすることでHIVに感染する確率を下げる「PEP(ペップ)」も海外では実用化されてきており、コンドームの使用だけではなく予防が、今後日本でも広がっていく可能性があります。

この他、すでにHIVに感染をしている人について、感染当時若かったHIV陽性者が高齢期を迎えるようになりつつある状況下での支援や介護福祉施設などでのように受け入れていくのかということや、国連共同エイズ計画が「2020年時点で、世界中のHIV陽性者の90%が検査を受けてHIVの感染を知り、そのうちの90%が治療を受け、さらにその90%が治療の効果で体内のウィルス量が検出限界以下という状態」を目指していることなど、今後取り組んでいくべき課題もたくさんあります。

現在中野区では月2回の通常検査(結果の判定は約2週間後。梅毒・クラミジア・B型肝炎の検査も同時に可能)と、隔月の即日検査(判定保留となる場合もありますが、基本的に結果の判定は当日。HIVのみの検査)を匿名・無料で実施しています。

[www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001721.html](http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001721.html)

日本経済新聞(2017/10/08)「インターネットで議会身近に NPOなどの取り組み広がる」  
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO22027340X01G17A0TCL000/>  
 大学生の議員インターンシップについて、石坂が受け入れをしている学生インターンについて取り上げられました。

**お茶会のお知らせ**

1月27日(土) 16:30~18:30

会場 江古田区民活動センター 洋室1・2・3

住所 中野区江原町2-3-15

▶都営大江戸線「新江古田駅」A1出入口徒歩7分  
 ▶「JR中野駅」北口から関東バス中27江古田の森行、中25練馬行、中28江古田行「江古田3丁目」下車徒歩4分  
 ▶「JR中野駅」北口から関東バス中41江古田行(丸山営業所経由)「江古田区民活動センター・江古田地域事務所」下車徒歩3分

メールニュース 配信中!

議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。

[09wishizaka@mbr.nifty.com](mailto:09wishizaka@mbr.nifty.com)

たつのご通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。

**通信を郵送します!**

**学習会のお知らせ**

**アディクション(依存)を考える**

物に対する依存や、人に対する依存について、「ダメ。ゼッタイ。」ではない取り組みを考えます。

講師 精神保健福祉士 秋元恵一郎(NPO法人東京ダルク)  
 保健師 精神保健福祉士 儀 和子(NPO法人ダルク女性ハウス)

2月17日(土) 東中野区民活動センター 洋室1 18:15~20:45 中野区東中野4-25-5-101号

▶「JR東中野」駅東口北側から徒歩7分  
 ▶都営大江戸線「東中野」駅東口から徒歩10分  
 ▶東京メトロ東西線「落合」駅3番出口から徒歩3分

予約不要 途中入退場可 資料代100円

**ボランティア募集**

中野区内でのたつのご通信の配布、郵送準備などをお手伝いしてください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません。(50部程度から可能)

中野どらごん Vol.24 作:ドルショック竹下

2018年は中野区のはユニバーサルデザイン年

イヌバサス VS ユニバーサルデザイン

あんなゆるい人が利用しやあいなものを描いたんだ

性別的指向性年齢

ユニバーサルデザイン(以下UD)とは

中野区はユニバーサルデザイン推進条例が区民にUD化を進めようとするもの

中野区はユニバーサルデザイン推進条例が区民にUD化を進めようとするもの

設置されるつりこぼし防止の備え

大事なのは様々な状況の人を思いやること

UDだと思えばいい

思いやりかあ... これもUD化しないとな...

中野区議会内では、無所属議員控室にいます。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、うかがいます。

**お話をうかがいます**

★たつのご通信は年4回の発行をしています。今後の郵送を希望される方はEメール、FAX、電話(不在時は留守番電話をご利用ください)などにてお知らせいただけましたら幸いです。

TEL&FAX 03-6304-8758(事務所)

MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

# 不安と孤立を見捨てない 石坂わたるの たつのご通信

中野区議会議員・無所属

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758 [中野区議会]〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885(無所属控室)

2018・冬号

<http://ishizakawataru.net/>  
 @ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com



1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校介助員、教育センター職員、専門学校非常勤講師(保育科・児童福祉科)などを経験し、2015年4月、中野区議会議員選挙にて再選(2期目)。精神保健福祉士、行政書士。

平成29年 第4回定例会では、防災、ユニバーサルデザインやバリアフリーなどについて質問で取り上げました。すべての人が安全・安心を守られながら様々な場面で活躍することができ、ハラスメントや暴力の被害者が泣き寝入りやせざるをえない社会にならないようにしていきたいと思います。

こうした視点で区政を進めるべく議員活動をしています。

## 多様性を大切にした、支えあいと共生のまちづくり

### 老後の不安解消

- 家族が介護で孤立する事態を防止するための、介護疲れ解消支援の充実
- 要介護度が「要支援1・2」の方や認知症の方向けの支援の拡充
- 年齢にかかわらず生きがいや自立のためにその人に合わせた地域活動や仕事ができる社会づくり など

### 子育てにおける不安に対する支援

- 母親の育児孤立を防止し、両親の育児疲れを解消する支援策充実
- 保育所や学童クラブの待機児童ゼロと、病児・病後児保育、休日保育の拡充
- 私立を含めた子ども施設における、障がい児や配慮が必要な子どもへの支援拡充

### 雇用不安の改善

- 職場におけるハラスメントやワーキングプア、差別・人権侵害などに対する相談・支援先確保
- 女性や障がい者などが働きやすい職場づくりに取り組む企業への支援

### 災害対策

- 木造密集地の更なる解消と不燃化住宅への建て替え支援
- 避難先となる全施設の電源・飲料水などの備蓄の確保・拡充

### 特別支援教育や障がい福祉についての取り組み

- 勉強が苦手な児童への支援と、いじめ防止
- 発達障がいのお子さんのための巡回指導の拡充や成人期に向けた支援
- 障がい者が働き、活動できる場の開拓・支援
- 慢性疾患(HIV/肝炎等)や難病の診療や支援の充実

### 生きにくさを抱えた人へのよりよい

- あらゆる暴力・人権侵害のない社会の実現
- 性的指向・性自認に関するSOGIハラスメントの防止とLGBTに関する相談強化

### 切り捨てではない、効率化や無駄の削減

- 専門性の高い職員、専門性を持つ管理職を増やし、現場視点や住民ニーズを踏まえた効果的な施策の展開
- 区職員の長時間勤務の規制・圧縮や業務の効率化による、超過勤務手当(残業代)の削減
- 区職員の体調管理や不調の早期発見による、長期間にわたる休職の減少

視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのご通信(オーディオCD/DAISY CD)をご用意できます。



# 不安と孤立を見捨てない 石坂わたる

**一般質問(H29.11/30)**  
平成29年 第4回定例会(11/28~12/12)

## 》新区役所・新体育館におけるユニバーサルデザインを徹底すべき

**石坂** 新区役所や新体育館におけるユニバーサルデザインや、誰にとっても利用しやすいワンストップ窓口の整備をどのように行いますか。

**区長** 新区役所庁舎の整備では総合窓口の設置や分かりやすいサインの整備、使いやすい受付カウンターの採用など、高齢の方、障がいのある方、お子さんを連れてきた方など来庁した全ての方が不自由なく利用できるユニバーサルデザインの考え方を導入した区役所の実現を目指します。新体育館は多様な障がい者スポーツなどを行えるアリーナの整備、多機能トイレの各階設置、多言語サインの整備などにより障がいの有無や年齢等に関わらず、多様な区民が安心して利用できるよう設計をしています。

**石坂** 窓口のワンストップ化では行政サービスの隅々まで知り尽くした、どんな人にも対応できる職員が窓口が必要となりますが大丈夫ですか。

**区長** ワンストップの総合窓口は一人一人のニーズに応じた必要な情報やサービスの提供、申請手続きなどを行うとともに、専門的な相談にも対応できる体制を整えます。必要となる職員の育成や組織体制をはじめ、業務を支援する情報システムや、ICTの活用も併せて検討します。

**石坂** ユニバーサルデザインの見本となる庁舎や体育館を、想定される様々な利用者の声も聴き、考え、設計をし、運営・運用をしていくべきではないですか。

**区長** 新庁舎の整備では、細心の考え方や技術の採用の他、区民や利用者、議会や関係団



南中野区民活動センターにてお茶会(12/17)

体の様々なご意見を参考にし、人にやさしく使い勝手のよいユニバーサルデザインに配慮された施設となるよう整備及び運営方法の研究を進めます。設計が進んでいる新体育館では、障がい者団体の意見等を踏まえ、スペースにゆとりがある多機能トイレや停電時には非常用発電機により電源が供給するエレベーターを設置する予定です。非常時の人的対応も事業者と協議をしていきます。両施設とも誰にとっても使いやすいユニバーサルデザインの考えを反映した設備・機能となるよう整備機能を進めます。

**補足説明** エスカレーターには、ステップにある危険防止の黄色いラインが真っ平らなものと、左右のライン部分が盛り上がって足で踏んだ際に分かるもの両タイプがあります。また黄色いラインがステップの奥と左右のみに引かれたコの字型と、手前側も含めた口の字型があります。口の字型はステップとステップ段差がわかりやすくなります。多目的トイレは、右半身まひの人と左半身まひの人では必要な手すりの位置が左右逆になるため、2か所以上多目的トイレがある場合は手すりの位置が左右逆になるように作ることが望まれます。エレベーターは停電や地震で(電気が停電をしていなくても安全上のしくみからエレベーターが動かなくなる場合があります)止まってしまった場合に車いす利用者の避難について(障害者会館のように屋外に後付けのスロープを付けた例もあり、)工夫が求められます。

## 》区内で開催された日本エイズ学会、TOKYO AIDS WEEKSの成果を活かすべき

**石坂** 先週末を中心に区内で日本エイズ学会と、その関連イベント「エイズウィークス」が開催され、のべ3400人を超える来場者がありました。区民向けの公開の企画も行われ、サンモール商店街や中野駅北口改札前や区役所庁舎にはレッドリボンのバナーが掲示され、来場者からはとてもよい評判を耳にしました。区長はどう評価をしていますか。

**区長** 日本全国の学識経験者・医療関係者・福祉関係者など多くの方々に中野区を知っていただくよい機会になったと考えます。今回の学会等に関して区は会場の調整や商店街でのフラッグ掲出の調整、イベントの情報発信を行



TOKYO AIDS WEEKS 駅前商店街垂れ幕

**日本エイズ学会・TOKYO AIDS WEEKSにて**

**TOKYO AIDS WEEKS 区役所垂れ幕**

**JR中野駅前 TOKYO AIDS WEEKS 横断幕**

いました。民間団体や商店街など、関係者との連携体制ができたことは区として大規模な会議などの誘致を通じた地域振興を進めるうえでよいきっかけになったと考えています。

**石坂** 今後の区の取り組みとして、産官学の協同に住民も巻き込み、区民の意識の啓発や知識の向上などにつながる工夫をすべきではないですか。

**区長** 今回のイベントで最新のHIV医療の現状や研究成果が発表され、市民講座等を通じて区民も触れられました。この成果を今後は行政の取り組みに生かしたいと考えています。

**石坂** 知識や意識の啓発について、今回の学会で終わらず、区民に最新の知識の普及啓発や検査への動機づけにつながる情報提供をし続けることが必要ではないですか。

**保健所長** 今回の学会の講演会につきまして、区のFacebookで発信をするなど情報提供を行っています。今後も情報を様々なツールで発信するように努めます。

**補足説明** このほか、今後はレッドリボンを全職員がエイズ予防月間の時期などを中心に身につけることや、検査の周知の工夫などを求めました。

## 建設委員会(11/8、12/4、5)

●中野駅周辺のまちづくりについて、歩行者優先のまちづくりにおける歩行者の動線や、平常時の賑わい誘導の情報発信・非常時の区民や帰宅困難者に対する情報発信についてのユニバーサルデザインの観点から、障がい者や外国人等への配慮を求めました。

●哲学堂公園再生整備計画(案)の説明会・意見交換会において学習展示施設について区民からの「木の伐採に反対」する意見に対し、伐採を行う旨の説明のみを行い、植樹をする説明をしていなかった点について改善を求めました。また、伐採した木についてはこれまでも哲学堂公園の児童遊園では園内で伐採した木を使った遊具などが設置されていることから、伐採した木の再利用を求めました。

●公園についてトイレを含めたユニバーサルデザイン化を求めました。また、各種インフォメーション(地図を含む)についての(外国人への対応を含む)ユニバーサルデザイン化を求めました。

●区営住宅の入居者で高齢や障がいによって収入申告ができない人に関する手続き(代わりとなる他の情報を照会することで手続きを免除する)について、収入申告ができないような状態の高齢者や障がい者によっては様々な他の行政上の手続きがとれない人もいるのでこうした方々が不利にならないような対応を求めました。

●大和町防災まちづくりにおいて、中野第四中学校の跡地や区民活動センターの活用について、地域の声を生かしながら防災まちづくりにおける活用をしていくよう求めました。

●東中野の桜並木について、修景計画の作成を早急に検討するよう求めました。



次世代都市開発EXPO

## 少子高齢化対策調査特別委員会(11/24、12/7)

●介護予防のための運動機能向上プログラムについて、運動習慣の有無や体力の有無に応じた参加者の身体能力別のプログラムを用意するよう求めました。

●若年性認知症実態調査について、発症した年齢や現在の年齢について、介護保険の1号被保険者と2号被保険者の区切りでもある65歳で区切って調査をするだけでなく、介護保険未加入期である40歳未満で若年性認知症になったケースについても分析ができる調査をするよう求めました。

●障がいや発達に課題のあるお子様の通所支援施設・放課後デイについて、医療的ケアが必要な重度心身障がい児を受け入れている民間施設において、送迎の経費負担がネックになっていることを指摘し、改善策を検討するよう求めました。

## 決算特別委員会 建設分科会(9/25、9/26、9/27)

●今後の地域包括ケアの担い手の一つとしてシルバー人材センター(とりわけ、福祉サービス、家事援助サービス、子育て支援サービス、介護予防・生活支援等に関する分野)が期待されているにもかかわらず、会員数や受注件数・受注金額が減少傾向にあることを指摘し、改善を求めました。

●都市観光に関するパンフレット類について、空港やターミナル駅、あるいは他区の観光関係の窓口への設置を求めました。

●作られたばかりの公園は木がまだ育っておらず、熱中症を防ぐための日除け対策を考えるよう求めました。

●区道の補修を定期的に行うことで陥没等を事前に防いでいけるよう求めました。



明治大学ヒューマンライブラリーにて義足体験



台湾訪問。台湾民主基金会にて

●二次避難所に関して、現在、高齢者の二次避難所に備蓄物資の配備が行われていますが、今後、乳幼児あるいは障がい者、その他の二次避難所についても、備蓄を考えていくべきであり、その際には嚙下に困難がある人や、経管栄養が必要な方のための備蓄も行うよう求めました。

●国土交通省の「社会資本整備総合交付金(効果促進事業)」について、国土交通省が用途として想定している、観光案内情報板の整備や社会実験も積極的に考えていくよう求めました。

●高齢者福祉住宅及び障害者福祉住宅について、管理人(ワーデン)と生活援助員(LSA)について、福祉の資格などを持つ生活援助員を増やしていくことや、管理人等について研修を通じて障がい者や高齢者に対応する専門性を高めてもらうよう求めました。

●住み替え支援事業の登録不動産について、不動産屋店はもちろんのこと、大家についても、入居を拒まないようにする視点を持って研修等を進めてもらえるよう求めました。

●東京都の不燃化特区事業が終了した後も国からの補助金なども活用して不燃化助成をしっかりと進めてもらうよう求めました。

**補足説明** 東京都都市整備局によると、中野区は比較的、震災発生時の建物倒壊危険度が低い一方で、火災危険度が非常に高い地域とされています。

このほか、陳情「哲学堂公園内におけるラジオ体操を継続する場所について」に対して賛成討論をしました。詳細は、<http://ishizaka.exblog.jp/29253508/>を参照ください。

**石坂わたるの活動報告**

12月28日	南台原町会夜警閉所式
12月27日	「1/10 Fukushima」をきいてみる」上映会
12月26日	エカイイ村！ 第二回文化祭
12月25日	南台二丁目前原町会夜警
12月24日	中野桃園教会クリスマス礼拝
12月21日	認知症みんなで考える中野ネットワークショップ
12月20日	東京若手議員の会虐待防止プロジェクトチーム
12月17日	つながる中野忘年会
12月16日	10周年記念行事
12月14日	中野区議会日台議員連盟にて台北市議会・市役所市立中学校、台湾民主基金会、台湾外交部訪問(私費での訪台)
12月9日	LG&T支援法律家ネットワーク10周年記念行事
12月4日	建築士事務所協会忘年会
11月27日	新福祉所 東京都南新宿検査相談室の見学
11月26日	明治大学中野キャンパス国際日本学部ヒューマンライブラリーに本役で参加
11月25日	日本エイズ学会 TOKYO AIDS WEEKS 2017
11月24日	日本エイズ学会にて学会発表
11月19日	日本精神保健福祉士協会研修
11月18日	中野区総合防災訓練(公助連携訓練)
11月14日	明治大学生生からの研究目的の取材
11月12日	区立北原小学校学校公開 南台小学校みなみの小学校学校公開 展覧会
11月11日	区立北原小学校学校公開 南台小学校みなみの小学校学校公開 展覧会
11月10日	生涯学習サポーターの会10周年記念行事
11月8日	国会LG&T議連席席
11月7日	建設委員会視察(愛知県春日井市J月春日井駅橋上駅舎同県岡崎市岡崎ヒューマンライブラリー)
11月5日	日本精神保健福祉士協会成年後見人ネットワーククロンハイ研修
11月4日	区立第三中学校開校70周年記念祝賀会
11月3日	区立谷戸小学校谷戸まつり、中野にしねこイベント
10月30日	中野区社会福祉協議会顕彰式登録ボランティアとして感謝状を授与されました。武蔵大学「地域社会学の授業にてゲストスピーカー
10月28日	中野区社会福祉協議会顕彰式登録ボランティアとして感謝状を授与されました。武蔵大学「地域社会学の授業にてゲストスピーカー
10月26日	中野区社会福祉協議会顕彰式登録ボランティアとして感謝状を授与されました。武蔵大学「地域社会学の授業にてゲストスピーカー
10月24日	中野区社会福祉協議会顕彰式登録ボランティアとして感謝状を授与されました。武蔵大学「地域社会学の授業にてゲストスピーカー
10月22日	中野福祉作業所まつり、区立かみさきこぶし園こぶしフェスティバル
10月21日	東京都道路整備推進事業推進大会
10月20日	ユニバーサルデザイン推進条例についての意見交換会
10月19日	南中野児童館 弥生福祉作業所テラス オフエスバル、東北復興祈念祭
10月18日	中野区社会福祉協議会顕彰式登録ボランティアとして感謝状を授与されました。武蔵大学「地域社会学の授業にてゲストスピーカー
10月17日	区立障害者会館まつり、区立小学校特別支援学級連合運動会
10月16日	中野にさわいフエタ
10月15日	ひがしなかの幼稚園運動会、中野にさわいフエタ
10月14日	中野みなみ保育園運動会、南中野地区まつり